

からだに優しい授乳用ブラジャーの製品開発

○藤田 薫子*1)、光畑 由佳*2)

1. はじめに

妊婦が外出時の授乳をためらい、精神的ストレスによる「ひきこもり」がおきるなど、日常生活のデメリットが報告されている。そこで、授乳期に負担なく外出できること、からだのマイナートラブルに配慮することなどを開発ポイントに、快適で機能的な授乳用ブラジャーを製品化した。

2. 内容

マーケットリサーチ、ユーザーインタビュー、アンケート調査などによる実態調査を行い、意向・嗜好を把握した。授乳期のバストサイズについてモニターによる体型計測を行いデータ収集した。

上記の調査結果から、デザイン機能(図1)について検討し、機能に適する有効な素材を選定した。また体型計測によるリアルデータを基にパターン設計を行い、快適に過ごすための授乳用ブラジャーのサンプルを作成した。ユーザーの意向と合致しているか、モニターによる試着試験を実施した。評価を受け修正点を抽出し、パターン改良しマスターパターンを完成させた。さらにサイズ展開、製品化した。



図1 機能的デザイン設計

3. 結果・考察

製品開発で配慮すべきポイントは以下のとおりである。

- ①アンケートの意向、嗜好調査により、授乳期のデリケートな身体状況に配慮し、必要な機能を明確にすること。
- ②モニター体型計測で平常時と授乳時のバストサイズの変化、授乳の姿勢、身体の負担を感じる部位についてなど、リアルデータを抽出する。
- ③身体の負担を軽減させる機能、授乳パッドを収納するポケットなど便利機能、バスト変化に対応する調整機能など、素材、副資材選定を含みデザイン設計に不可欠である。
- ④授乳期、卒乳、両用を考慮したデザイン設計が有効である。

4. まとめ

実態調査ではストレスフリーを切望する母親から、子供を連れて外出するために如何に工夫しているか、からだに心配慮した授乳下着を探すことが如何に難しいか、など多くの意見が寄せられた。育児中の母親にとって快適で機能的な授乳用ブラジャーの重要性は、必要不可欠と考える。

この研究結果をもとに、平成22年2月中旬に機能性と快適性を兼ね備えた授乳用ブラジャー「モーブラ・しゃんと」が共同開発企業より販売され、ユーザーから大変好評を得ている(図2)。



図2 授乳用ブラジャー商品

*1) 墨田支所、*2) モーハウス(有)